

山中市長がドイツを訪問し、循環型都市への世界的な移行を提言・先導

～①イクレイ世界理事会での提言、②国際会議「Daring Cities 2026」での発信、③フランクフルト市長との会談 を行いました～

山中 竹春 横浜市長が、ドイツ・ボン及びフランクフルトを訪問しました。

循環型都市への世界的な移行に貢献するため、**イクレイ世界理事会及び国際会議「Daring Cities 2026」**本体会合に参加し、横浜市内で進めているサーキュラーエコノミーの取組や横浜グリーンエキスポのビジョンを共有するとともに、アジア地域において循環型都市への移行を先導している枠組を紹介しました。イクレイ世界理事会には**日本の自治体の首長として初めて参加し、サーキュラー成長を担当する理事として世界 2,500 のイクレイ会員都市を代表して発言**しました。理事会において山中市長は、**循環型都市への移行を世界で広げていくため、アジア、欧州など地域を超えて知見の共有を進めていくことなどを提言し、賛同を得ました。**

その後、**フランクフルト市長との会談**を行いました。パートナー都市として、循環型都市への移行に向けた連携強化を確認するとともに、**イクレイ世界理事会での議論を踏まえ、2026年9月に横浜で行う「アジア太平洋循環型都市フォーラム(APCC-Forum)」に、欧州都市代表スピーカーとして同市長をお招きしたところ、参加意向を表明**いただきました。

このほか、ドイツ訪問中に国連機関代表らとの会談を行い、環境分野や次世代育成分野での連携を確認しました。

1 行程

令和8年6月8日(月)～6月12日(金)

日程	内容
6月8日(月)	・日本発、ボン着 ・在デュッセルドルフ日本国総領事との会談
6月9日(火)	・イクレイ世界理事会登壇 ・UNV(国連ボランティア計画)事務局次長との会談 ・IPBES(生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム)事務局長との会談 ・UN SDG Action Campaign(国連 SDG アクション・キャンペーン)グローバル・ディレクターとの会談
6月10日(水)	・国際会議「Daring Cities 2026」登壇 ・DJW(日独産業協会)理事長との会談
6月11日(木)	・在フランクフルト日本国総領事との会談 ・フランクフルト市長との会談 ・フランクフルト発
6月12日(金)	・日本着

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 主な内容

(1) イクレイ世界理事会への登壇

6月9日、ボンで行われたイクレイ世界理事会に参加しました。イクレイは、持続可能な都市の実現を目指す都市間ネットワークで、世界2,500都市が参加しています。山中市長は日本で唯一、世界理事会の理事(サーキュラー成長担当)を務めており、今回、世界の会員都市を代表して「サーキュラー成長」をテーマに登壇しました。循環型社会の実現に向けて都市が果たす責務を強調するとともに、横浜市が「YOKOHAMA Circular Link」の政策のもと、市民や事業者の皆様とともに進めている取組を紹介しました。また、欧州90都市が参加している「欧州循環型都市宣言制度(CCD)」の事例を踏まえ、「アジア循環型都市宣言制度(ACCD)」の立上げに本市も貢献したこと、現在はアジア地域の宣言都市が7か国26都市に広がっていることを報告しました。こうした循環型都市への関心の高まりのなか、世界全体で循環型都市への移行を推進するため、次の3つの取組を提言し、出席理事の賛同を得ました。

- ① ACCD都市と CCD都市との知見共有など、地域間の連携を進めること
- ② 欧州やアジア以外の都市にも、循環型都市の動きを広げていくこと
- ③ 循環型都市を、国連の気候変動枠組条約締約国会議(気候変動 COP)をはじめ国際会議のアジェンダとして取り上げるなど、国際的な政策提言を進めること

また、イクレイの情報発信チームからのインタビューを受けました。その結果はイクレイのYouTubeチャンネルに掲載される予定です。



イクレイ世界理事会でのプレゼンの様子



イクレイ世界理事会の集合写真

(2) 国際会議「Daring Cities 2026」への登壇

6月10日、国際会議「Daring Cities 2026」の本体会合(プレナリーセッション)に参加しました。同会議は、イクレイ及びボン市が2020年から共催しているもので、都市の先進的な気候変動対策などを紹介し、気候変動 COPなどの国際的な枠組に都市の声を反映する目的で開催されています。今回、都市の代表として中央政府や国際機関の代表とともに、気候変動対策における都市の役割をテーマとしたパネルディスカッションに登壇しました。横浜市が循環型都市の実現に向けて多様なステークホルダーを巻き込みながら知見共有・交流を推進していること、「アジア循環型都市宣言制度(ACCD)」が立ち上がったこと、ACCDではその行動計画の策定、ACCD都市の先進事例の共有、都市の声を国際社会に政策提言することに取り組むこと等を共有しました。また、循環型都市への移行をアジア地域で、そして世界全体で推進することに本市が貢献していくことを表明しました。



Daring Cities2026 登壇の様子



Daring Cities2026 登壇の様子

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(3) フランクフルト市長との会談

6月11日、フランクフルトを訪問し、マイク・ヨーゼフ市長と会談しました。横浜市とフランクフルト市は2011年からパートナー都市として連携を深めています。また、フランクフルト市は、CCDの署名都市であり、フードロス削減など環境分野の取組を進めています。今回、次世代交流促進や2027年の横浜グリーンエキスポ成功に向けた相互協力に加え、循環型都市への移行に向け両都市の協力を強化していくことを確認しました。また、イクレイ世界理事会の議論を踏まえ、9月のAPCC-Forumに欧州CCDの代表スピーカーとしてお招きして、アジア都市との知見共有を依頼し、ヨーゼフ市長から参加の意向が示されました。



マイク・ヨーゼフ フランクフルト市長との会談



マイク・ヨーゼフ フランクフルト市長との会談

(4) 国連機関代表らとの会談

ア UNV(国連ボランティア計画)

UNV本部を訪問し、アンドレイ・ポグリブニャク事務局長と会談しました。UNVは、世界各地の市民の方を国連機関の活動にボランティアとして派遣する活動等を行っています。今後、若い世代をはじめ横浜市民の皆様が世界とつながる機会を創出していくため、横浜で、UNVの活動紹介や派遣経験をもつ方を講師に迎えたキャリアセミナーを行うなど、連携していくことを確認しました。



アンドレイ・ポグリブニャク事務局長との会談

イ IPBES(生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム)

IPBES本部を訪問し、ルサンド・ジバ事務局長と会談しました。IPBESは、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化するための政府間組織であり、科学的評価、能力開発、知見生成、政策立案支援の4つの機能が活動の柱となっています。2027年の横浜グリーンエキスポを紹介し、生物多様性の損失という地球規模の課題を解決していくことの重要性を確認しました。



ルサンド・ジバ事務局長との会談

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



ウ UN SDG Action Campaign(国連 SDG アクション・キャンペーン)

マリナー・ポンティ グローバル・ディレクターと会談しました。同機関は、世界中で持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた人々の意識向上と具体的な行動を加速させるため、国連事務総長が主導するイニシアティブを推進しており、世界の先進事例を表彰するなどの活動を進めています。環境にやさしい行動を市民・事業者の皆様とともに進めている「STYLE100」や、APCC-Forum など横浜市の取組を紹介し、今後の連携について協議を行いました。



マリナー・ポンティ グローバル・ディレクターとの会談

エ DJW(日独産業協会)

ゲアハルト・ヴィースホイ理事長と会談しました。DJW は日本とドイツの経済対話プラットフォームで、約 1,000 名が参加し、経済交流イベント等を実施しています。今回、2027 年の横浜グリーンエクスポ、また、同年に初開催する「国際サーキュラー総合展」について紹介し、会員企業への参加呼びかけなどで協力していくことを確認しました。



ゲアハルト・ヴィースホイ 理事長との会談

【参考】

<イクレイ(持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会)>

1990 年に創設された、持続可能な都市と地域の実現を目指す世界最大級の都市・地域ネットワークで、加盟都市は 2,500 以上。世界本部はドイツ・ボン市に所在。国連機関とのパートナーシップを結び、国際政策への発信力と影響力を有し、日本からは東京都や 11 の政令市を含む計 26 自治体が加盟。

<イクレイ世界理事会理事(サーキュラー成長担当)>

イクレイ世界理事会(ICLEI Global Executive Committee)は、イクレイの最高方針を決定する機関。会長(1名)、副会長(3名)、地域理事(6名)、分野別理事(9名)、アドバイザーにより構成。山中市長は 2025 年 10 月 17 日にサーキュラー成長担当理事に就任。サーキュラー成長担当理事は、循環型都市の実現に向け、以下の役割を担う。

- ・サーキュラー分野の行動計画への助言
- ・国際機関等とのパートナーシップの促進
- ・会員間の議論を促進するとともに、サーキュラー分野の成果を広く発信し活動を推進
- ・主要国際会議での講演 等

<Daring Cities 2026>

気候変動に関する都市の取組と国際交渉を結び付けることを目的として、2020 年よりイクレイ及びドイツ・ボン市が共催している国際会議。複数回の Webinar や各都市における対話を経て、その集大成として「ボン対話」を例年6月にボン市で開催(2025年は28か国が参加)。

次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



<アジア循環型都市宣言制度(Asian Circular Cities Declaration (ACCD))>

アジア地域における循環型都市の推進を後押しする国際的な制度として、横浜市が発起都市となり、アジア都市のリーダーと共に設立を要望した結果、2025年11月横浜市主催の国際会議「アジア・スマートシティ会議 2025」の中で、イクレイ日本によって創設。発起都市である横浜市は同会議の中で署名し、第一号署名都市となった。現在、7か国 26 都市が参加。

<フランクフルト市との連携>

2011年のパートナー都市提携以降、経済、脱炭素、次世代交流促進等で連携。1997年より横浜市欧州事務所が所在(2022年7月までは横浜市フランクフルト事務所と呼称)。

<YOKOHAMA Circular Link>

横浜市の強み・特性を生かしながら、生産・消費・再資源化のあらゆるステージにおいて、「たべる」「つくる」「とりくむ」「つなぐ」「くらす」「みえる」の6つのサーキュラーの具体的な取組を横断的に展開するプロジェクト。

お問合せ先

【2(1)(2)に関すること】

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局脱炭素マネジメント課長 大屋 Tel 045-671-2683

【2(3)に関すること】

政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 丸山 Tel 045-671-4711

【アジア循環型都市宣言制度に関すること】

政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 谷澤 Tel 045-671-4889

【その他本件に関すること】

政策経営・国際戦略局グローバル都市戦略課担当課長 伊藤 Tel 045-671-4709



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

